

石狩川上流・天塩川上流水防連絡協議会  
第2回 天塩川上流減災対策委員会 議事要旨

日 時：平成28年9月7日（水） 13:30～15:00

会 場：グランドホテル藤花 2階 大雪の間

参加者：別紙による

【議事】

- (1) 8月20日からの大雨による出水概要について
- (2) 幹事会の報告
- (3) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく天塩川上流の減災に関する取組方針（案）について

【議事要旨】

- ・8月20日からの大雨による出水概要の情報共有
- ・水害時の対応に係る市町村向け啓発ビデオの情報共有
- ・「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく天塩川上流の減災に関する取組方針の確認及び承認

【委員からの主な意見】

(士別市)

- ・今回の出水ではリエゾンの派遣等含め、開発局の支援に感謝。
- ・住民避難に関しては、自助・共助の意識向上や各個人によるハザードマップの内容把握が重要だと考えている。

(名寄市)

- ・今回の出水では開発局の支援もあり、被害を最小限に食い止めることができたが、空知川などの大河川で堤防被害が発生したことには驚いた。今回は名寄川で氾濫危険水位を超過する出水となり、もし名寄川で堤防被害が発生すれば甚大な災害となることから、サンルダムの早期完成を望むとともに、想定最大規模の洪水に対応したハザードマップや、まるごと・まちごとハザードマップ等を実施していく。

(和寒町)

- ・今回の出水では、河川事務所からの情報提供が避難勧告等の発令判断に役立った。出水直後での減災対策委員会となり大変有意義な情報共有が出来た。引き続き防災意識を高めていきたい。

(剣淵町)

- ・今回の出水では、各自治会に配置している地域安全部長との情報のやりとりが大変有効となった。
- ・夜間に避難勧告等を発令する可能性がある場合には 20 時頃までに事前連絡し、発令時は躊躇することなく行うようにしている。
- ・携帯電話による緊急告知について未対応であったが、若い世代に大変有効な手段で有り実施していきたい。
- ・水防演習で実施した土嚢積み訓練が実際の水防活動に大変役に立ち、迅速な対応が可能となった。

(下川町)

- ・今回の出水では、リエゾンからの情報提供が非常に有効であった。
- ・町でも、降雨と河川水位の関係をシミュレーションできるツールを考えていきたい。
- ・町の防災訓練を昨年度から実施しており、引き続き町民の防災意識の向上を図っていきたい。

(美深町)

- ・今回の出水では内水被害程度にとどまったが、当地区における河道掘削の効果について再認識した。
- ・天塩川の水位上昇時に、注意喚起を行っても川を見に行く町民が多数いた。平常時からの防災意識の啓発が重要だと考えている。

(音威子府村)

- ・出水時における開発局の支援（ポンプ車・ホットライン）には感謝している。村の災害対応マニュアルの強化が必要と考えており、本会議で提供される情報等も参考にしたい。
- ・数年前に避難勧告を発令した際にマスコミ対応に追われ、住民避難への対応に支障が生じた。

(中川町)

- ・今回の出水での被害は少なかったが、本会議に出席して、「首長の責任の重さ」、「ハード・ソフト整備の重要性」、「住民の防災意識向上の重要性」を再認識した。
- ・日頃から「天塩川と共に生活している」という意識を住民と共に共有し啓発していきたい。

(上川振興局)

- ・一連の出水による河川施設の被害について、現在把握している限りでも 100 箇所(被害額では 30 億円以上)だった。今後とも、関係機関と連携して物的・人的被害を最小限に食い止めていきたい。

(北海道警察旭川方面本部)

- ・出水時には役場と連携して人命を救助する必要がある。早めに防災情報が欲しい。
- ・市町村による防災意識向上の取組に積極的に参加するとともに、警察内部でも意識向上の取組を実施していきたい。

(旭川地方气象台)

- ・今年の台風の動きは地球温暖化による影響もあると考えている。近い将来に大出水が発生することも想定して、減災への取組を実施していくことは重要だと思う。气象台としても、防災気象情報の精度向上に努めるとともに、市町村と連携して防災意識向上の取り組みを実施していく。

(旭川開発建設部長)

- ・今回の出水では各地で内水氾濫が発生しており、旭川開発建設部所有の排水ポンプ車のみでは排水作業が追いつかず、配置に時間を要した箇所もあったが、他の開発建設部ポンプ車の応援を含め排水作業を行うことができた。
- ・水防対応に使用する土嚢が不足している連絡を自治体から受け、開発局所有の土のう造成機により大量の土のうを作成し提供することができた。
- ・直轄・補助区間を含め、各地で河岸侵食等が発生したため、根固めブロックや重機・オペレーターが不足する事態となったことから、ブロック等資材の備蓄、重機・人員等の確保が重要であることを改めて感じた。
- ・水防団や樋門操作人の高齢化が進んでいる。若手世代の意識を高めて出水対応ができるようにしておく必要がある。
- ・本日承認いただいた概ね 5 年で実施する取組内容に基づき、天塩川流域で一体感のある取組を実施すると共に、継続的なフォローアップを進めていきたい。

## 石狩川上流・天塩川上流 水防連絡協議会

### 第2回 天塩川上流減災対策委員会

所 属	役職名	氏 名	備 考
士別市	市長	牧野 勇司	
名寄市	市長	加藤 剛士	
和寒町	町長	奥山 盛	
剣淵町	町長	早坂 純夫	
下川町	町長	谷 一之	
美深町	町長	山口 信夫	代理：副町長 今泉 和司
音威子府村	村長	佐近 勝	
中川町	町長	川口 精雄	
上川総合振興局	局長	渡辺 明彦	代理：旭川建設管理部 維持管理課長 中尾 肇
北海道警察 旭川方面本部	本部長	池田 康則	代理：警備課 次席 福井 一
陸上自衛隊第二師団	師団長	高田 克樹	欠席
旭川地方气象台	台長	磯部 英彦	
旭川開発建設部	部長	伊藤 丹	